

# 平成27年度事業実績報告 (案)

自：平成27年4月 1日  
至：平成28年3月31日

## 目次

事業実施状況並びに期末評価	3～17
事業別利用実績	18, 19
年度別利用率の推移	20
利用者の状況	21, 22
事業・職種別職員数一覧	23
職員の動向等	24
施設外研修一覧	25
施設内研修一覧、資格取得状況一覧	26
外部実習受入及び地域交流等の状況	27
苦情解決・アンケート	28
地域包括支援事業（上越市受託事業）	29～31

社会福祉法人 上越頸城福祉会  
しおさいの里等複合施設

特別養護老人ホームしおさいの里  
障害者支援施設 さいはま園  
デイサービスセンターゆりかご荘  
しおさいの里居宅介護支援事業所  
地域包括支援センターうのはな苑

## 平成27年度 事業実施状況ならびに期末評価(案)

### 1-1)しおさいの里等複合施設全体

事業目標：地域と共存し、積極的に地域社会に貢献します。

重点目標	実施状況・期末評価
<p>①3か年計画「しおさいの里 六華プロジェクト」を効率的、効果的に推進するため、事業部門、組織を再編し、新たに「在宅支援課」を設置します。</p>	<p>・本プロジェクトは「地域包括ケアシステム（介護が必要になった高齢者も、住み慣れた自宅や地域で暮らし続けられるように、医療・介護・介護予防・生活支援・住まいの5つのサービスを一体的に受けられる支援体制）」の構築に対する、当法人独自の手段（手立て）として策定したものである。</p> <p>計画初年度としては、プロジェクトの屋台骨として在宅支援部門のさらなる強化が必要であると考えた。そこで、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、デイサービスセンターからなる「在宅支援課」を設置し、「連携・共有」を意識した取り組みを実践した。（詳細は「1-2）在宅支援課」参照）</p>
<p>②上越市第6期介護保険事業計画に基づき、ショートステイの特養転換について、地域のニーズに配慮しながら検討し、計画します。</p>	<p>・平成27年4月16日に開催された上越市介護保険施設整備等検討委員会での選定により、当ショートステイ4床を特養に転換することが決定した。</p> <p>その後、施設内での検討ならびに所管である新潟県高齢福祉保健課との協議を経て、8月1日より特養104床、ショートステイ12床での事業運営を開始した。</p> <p>&lt;利用実績&gt;</p> <p>・27年度 特養：36,671人、ショートステイ：4,173人          （26年度 特養：35,599人、ショートステイ：4,934人）</p>
<p>③「介護予防」から「中重度の要介護者」まで、幅広いニーズに応える観点からの「支援・ケア体制の見直し」を行います。</p>	<p>・利用者の障害の重度化・重複化が課題となる中、安定した状態で施設での生活が続けられるよう、介護、看護、相談、機能訓練、栄養等の多職種が協働して支援を行った。</p> <p>&lt;延入院日数の状況&gt;</p> <p>しおさいの里 27年度：546日（26年度：604日）          さいはま園 27年度：184日（26年度：409日）</p> <p>・地域にある「介護予防」ニーズに対応するため、介護予防教室（だんだん広場）を1クラス増やすとともに、デイサービスセンターでの軽度利用者の利用定員拡大について検討を行った（在宅支援課）</p> <p>・血液感染症者の生活支援について、実際に受け入れを開始した（さいはま園）。</p>
<p>④地域や関係機関等、外部との交流を促進することで、職員の資質向上に努めるとともに、組織及び事業のマンネリ化を打破します。</p>	<p>&lt;研修会を通じた外部との交流&gt;</p> <p>6/17、外部講師を招いての認知症ケア（ひもときシート）に関する研修会を開催した。会場は上越市大潟コミュニティプラザを借用し、当施設職員の他、近隣の福祉関係事業所にも参加を依頼し、認知症ケア</p>

	<p>の知識、技術の向上に加え、他法人スタッフとの交流も深めることができた。</p> <p>&lt;ボランティアとの交流&gt;</p> <p>今年度は介護予防教室や認知症カフェ、施設利用者への余暇支援等、積極的にボランティアを受け入れを行うことで、事業運営の活性化につながった。</p> <p>・27年度 受入回数：208回 延受入人数：737人 (26年度 受入回数：130回 延受入人数：430人)</p>																								
<p>⑤計画的な空床管理ならびに各種加算要件の達成等による介護報酬の増加策を検討し実践します。併せて、業務改善によりさらなる経費削減に努めます。</p>	<p>&lt;利用率(高齢部門)&gt;</p> <table border="1" data-bbox="710 515 1420 716"> <thead> <tr> <th>事業種別</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特養入所</td> <td>97.5%</td> <td>97.6%</td> </tr> <tr> <td>特養短期入所</td> <td>84.5%</td> <td>85.6%</td> </tr> <tr> <td>通所介護</td> <td>68.6%</td> <td>78.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;介護保険事業収入(27年度)&gt;</p> <p>予算：534,143千円 決算：536,533千円 (2,390千円増)</p> <p>&lt;利用率(障害部門)&gt;</p> <table border="1" data-bbox="710 862 1420 1064"> <thead> <tr> <th>事業種別</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活介護</td> <td>96.9%</td> <td>99.6%</td> </tr> <tr> <td>施設入所支援</td> <td>94.7%</td> <td>97.4%</td> </tr> <tr> <td>短期入所</td> <td>88.1%</td> <td>91.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;障害福祉サービス等事業収入(27年度)&gt;</p> <p>予算：125,810千円 決算：131,173千円 (5,363千円増)</p>	事業種別	26年度	27年度	特養入所	97.5%	97.6%	特養短期入所	84.5%	85.6%	通所介護	68.6%	78.3%	事業種別	26年度	27年度	生活介護	96.9%	99.6%	施設入所支援	94.7%	97.4%	短期入所	88.1%	91.1%
事業種別	26年度	27年度																							
特養入所	97.5%	97.6%																							
特養短期入所	84.5%	85.6%																							
通所介護	68.6%	78.3%																							
事業種別	26年度	27年度																							
生活介護	96.9%	99.6%																							
施設入所支援	94.7%	97.4%																							
短期入所	88.1%	91.1%																							
<p>⑥利用者の生活環境ならびに職員の労働環境の改善を目的に、老朽化した全館空調設備等の改修・更新を計画し、実施します。</p>	<p>&lt;空調設備更新&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工期：平成27年9月17日～11月20日</li> <li>・施工業者：(株)山田商会 ・施行費用：67,932,000円</li> </ul> <p>&lt;特殊浴槽更新&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置完了日：平成28年3月13日 ・設置業者：さくらメディカル(株) ・設置費用：41,472,000円(職場定着支援助成金300万円を含む)</li> </ul>																								

## 1-2)在宅支援課

部門目標：笑顔と熱意をもって、地域と接します。

重点目標	実施状況・期末評価
<p>①在宅支援課各事業部門ならびに地域の関係機関、事業所間との情報共有を重視し、適切かつ迅速に相談支援やサービスの利用につなげます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課内での連携強化と情報共有の一環として、毎月定例の連絡会議を発足させた(在宅支援課に加え、高齢介護課ショートステイ部門も参加)。</li> <li>・地域との連携場面では、介護事業所、医療機関、地域包括支援センター、ケアマネジャー、民生委員等との関係者間でご利用者の状況を共有するために、こまめに連絡や報告を行うことを心がけた。</li> </ul> <p>結果、医療機関退院後のご利用者のデイサービス利用調整を迅速</p>

	<p>に行い、早期のサービス利用につなげたことで、認知症の進行を抑制でき、ADL（日常生活動作）が改善した事例を生んだ。</p>
<p>②「地域ケア会議」や「ケアマネジャー連絡会」等、地域での会議・行事等に積極的に参加し、顔の見える関係づくりや新たなネットワークの構築に努めます。</p>	<p>・在宅支援課全体で、多岐にわたる外部研修や会議等に出席した（年間合計34回、延67人）。また日常業務においては、電話連絡や書類郵送に限らず、時には関係機関等に直接出向いて情報交換を行う等、顔の見える関係づくりに努めた。</p> <p>・地域包括支援センターでは「高齢者の買い物支援」や「高齢者と小学生とのふれ合い」「福祉施設と地域とのつながり」等をテーマとした新たな地域のネットワーク構築に向けたケア会議等を開催した。</p>
<p>③社会福祉啓発活動の一環として、ホームページや広報紙等を活用し、積極的に地域に情報発信を行います。</p>	<p>&lt;公式ホームページ・ブログ&gt;</p> <p>在宅支援課に関連する情報を年間で51回更新した（地域包括：認知症カフェ、地域ケア会議等の紹介。デイサービス：活動内容や行事等の紹介。居宅介護支援：研修会議の参加報告）</p> <p>&lt;広報紙&gt;</p> <p>地域包括支援センター広報紙「おおがたうのはな日和」を5月と9月に発行し、各町内会からの協力を受け、大潟区内全戸（3,200世帯）に配布を行った。</p> <p>&lt;その他&gt;</p> <p>新規の介護保険ご利用者・ご家族等に対し、パンフレット等を用いながら、制度や各サービスに関する情報を提供し、理解の浸透に努めた（居宅介護支援）。</p>
<p>④介護予防推進チームを設置し、各課・部門と協働しながら「だんだん広場」を継続して実施します。なお、地域のニーズに応じて、クラスの増設を検討します。</p>	<p>・地域包括支援センター職員をはじめ管理職、特養部門機能訓練員、運転員、外部講師ならびにボランティア（総勢23人）で連携して運営を行った。</p> <p>・4月より教室を1クラス増設し、3（火曜、水曜、木曜）クラス合計で105人の利用定員とした。</p> <p>&lt;実施状況（クラス合計）&gt;</p> <p>・27年度 実施回数：144回、延参加人数：3,966人 （26年度 実施回数：71回、延参加人数：1,818人）</p>
<p>⑤デイサービスセンターにおいて、介護保険制度改正（新しい総合事業）に対応したサービスを提供します。（現行の介護予防通所介護に相当するサービス、緩和した基準によるサービス（通所型サービスA））</p>	<p>・4月1日より従来の「通所介護サービス」「介護予防通所介護サービス」に加え、新総合事業である「現行相当サービス」「通所型サービスA」の4体系での事業を開始した。</p> <p>・新総合事業では要支援（1,2）認定者の他、介護保険認定を受けなくても利用できる対象者（チェックリスト該当者）の今後の利用ニーズの増加が見込まれることから、介護予防型サービス（通所型サービスA）を中心としたデイサービス事業の拡大について、課内で検討を行った（次年度より実施予定）。</p>
<p>⑥介護報酬の増加策について、在宅部門が一体となって検討、実践します。（課内での連携体</p>	<p>・六華プロジェクトの重点取り組み事項⑥「持続可能な事業経営」について、デイサービスセンターの利用率の向上を中心に課内での</p>

<p>制の強化、サービス向上策の検討、PR 活動等の実践)</p>	<p>取り組みを実践した。</p> <p>&lt;実践した具体例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園芸や買い物外出等の新たな活動プログラムの実施</li> <li>・世代間交流（保育園児や小学生等）の充実</li> <li>・ボランティアの活用（書道、アロマハンドマッサージ、余興披露等）</li> <li>・理容サービスの導入</li> <li>・会議や日常業務を通じたサービス向上に関する意見交換（他事業所との比較）や情報共有</li> <li>・関係機関、事業所等へ出向いての営業活動</li> <li>・「認知症介護実践者研修」への職員派遣 等</li> </ul> <p>&lt;利用実績&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・27年度 利用率：78.3% 延利用人数：7,380人</li> <li>（26年度 利用率：68.6% 延利用人数：6,444人）</li> </ul>
-----------------------------------	---

### 1-2-1)地域包括支援センター

部門目標：上越市大潟区の「地域包括ケア」の中核機関として「公益性」、「地域性」、「協働性」の基本的な視点を持って、高齢者が住み慣れた地域で尊厳あるその人らしい生活を送ることができるように「地域包括ケアシステム」の構築を目指します。

重点目標	実施状況・期末評価
<p>①高齢者が安心して生活できるように、医療、保健、介護、福祉、住民組織や地域の協力機関と連携し、見守りネットワークを作るべく、取り組んでいきます。</p>	<p>・日頃より、支援を通じて医療関係者や介護保険関係者、民生委員等と連携を図り、早期相談・支援はできている。関係者と地域全体の見守りネットワーク構築に向けての話し合いなどする機会を設定しなかった。</p>
<p>②地域課題を把握し、地域に沿った事業を展開するために、法人の地域貢献活動や社会福祉啓発活動と協働し、推進します。</p>	<p>・まちづくり大潟から「地域支え合い事業」の介護予防教室、介護者のつどい、認知症カフェを受託し、だんだん広場と認知症カフェは施設職員からも協力を得ながら実施することができた。</p>
業務目標① 総合相談支援事業	実施状況・期末評価
<p>a. 地域の様々な相談に対し、関係機関と連携を図り、適切な支援を行います。</p>	<p>・地域包括の周知活動により、民生委員や介護保険関係者からの相談はもちろん、地域住民や警察等からの相談もあり、ともに支援できる関係を築いている。</p>
<p>b. 地域住民の見守り・相談体制を強化するために、高齢者とのつながりのある銀行や商店等の関係機関へ周知活動を強化していきます。</p>	<p>・5月・9月に「広報うのはな日和」を発行。またうみまち通信で地域包括支援センターの取り組みを紹介してきた。</p> <p>・地域ケア会議で大潟商工会の担当者より出席いただき、地域の特性や買い物支援について一緒に検討したことで、地域包括の役割についても理解を得ることができた。高齢者支援の中で郵便局との連携が取れたが、銀行や商店などへの周知活動も取り組む必要がある。</p>
<p>c. 65歳以上の独居高齢者及び65歳以上の高齢者のみの世帯を個別訪問し心身の状況、家族等の状況等の実態把握を行います。全世帯訪問を目標とします。</p>	<p>・6月に26年度の実態把握者名簿の全訪問を達成。7月以降ローラー作戦が行えなかったが、実態把握日に業務の都合をつけながら訪問した。年間282件を訪問し、把握率29.5%であった。</p>
業務目標② 権利擁護事業	実施状況・期末評価
<p>a. 地域住民に高齢者虐待や消費者被害の防止、日常生活自立支援事業、成年後見制度等の普</p>	<p>・だんだん広場の脳トレでオレオレ詐欺対策について考えるなど、消費者被害の周知を行った。成年後見の申し立て支援が1件。社会</p>

及・啓発を行います。	福祉士を中心に担当と家族が連携を図りながら申し立ての支援を行った。日常生活自立支援事業の相談は2件であり、上越市社会福祉協議会と連携を図った。
b. 高齢者虐待の相談・通報に対し、職員間で情報を共有し、事実確認、コアメンバー会議など、上越市高齢者支援課および大潟区総合事務所と連携していきます。	・高齢者虐待の相談はあったものの事実確認を行った事例はなかった。困難ケースについて市と連携を図りながら支援を行った。早期発見や予防に向けた取り組みも行う必要がある。
業務目標③ 包括的・継続的ケアマネジメント事業	実施状況・期末評価
a. 個別地域ケア会議から関係者同士の連携体制を構築するとともに地域のニーズを把握していきます。	・年6回実施した。地域包括としては話し合った内容を記録し、行政へ提出した。地域課題の把握までできなかったため、次年度に向けて行政と相談する必要がある。
b. 地域のニーズに対応できる支援体制を構築するため地域ケア会議を3回以上開催します。	・第1回の「大潟町小学校の高齢者とのふれ合いを知ろう」では小学校とのつながりや住民主体の活動について検討を行うことができた。第2回は「大潟区の特性、買い物支援について考える」をテーマに実施。地域アセスメントによって地域課題を把握し、検討まではしているが、実際の取り組む体制づくりまでできていない。第3回は地域の介護サービス関係者と地域の代表者として地域支え事業を理解したり、高齢者を地域の一員として何ができるのかを話し合った。サービス事業所は地域住民が期待していることや施設に対する想いを情報交換することができた。
c. ケアマネジャー連絡会の充実を図り、困難事例には介護支援専門員と連携しながら支援していきます。	・年5回実施。今年度は内容を見直し、利用者の相談は個別に受け、医療や介護に関する研修やサービスの紹介などケアマネに必要な知識を伝える場として実施することができた。1月には頸北・名立ブロックで「医療と介護の連携」をテーマに医療関係者とケアマネとで情報交換を行った。
業務目標④ 介護予防支援・総合事業	実施状況・期末評価
a. 要支援1・2の利用者、基本チェックリスト該当者に適切なケアマネジメントを行います。	・総合事業の移行により要支援及び事業対象者のサービス内容が大きく変わったが、一人一人のアセスメントに基づき、適切なサービスが提供できるようにサービス事業所と連携を図りながら支援することができた。
b. 他職種連携を図るため、ケアプラン作成時に地域連携連絡票を作成します。	・8月、12月、3月に作成月間を設け、44件の地域連携連絡票を作成した。
業務目標⑤ その他の事業	実施状況・期末評価
a. 高齢者の介護予防力を高めるために介護予防推進チームの中心となって「だんだん広場」を運営します。	・火・木曜日は法人独自事業とし、水曜日はまちづくり大潟からの受託事業として新たに開講した。登録は最大で105名。体調不良等を理由に途中で中止となった方は6名であった。バスハイクや席替えなどにより参加者同士の交流も増え、毎回の取り組みを楽しんでもらっている。
b. 認知症への理解を深めるための普及、啓発の取り組みとして認知症サポーター養成講座	・頸北名立キャラバンメイト連合会として小学生向けの認知症劇を計画し、北諏訪小学校の文化祭、大潟町小学校5年生の総合学習で

を開催します。また、認知症の方と介護者への支援を目的に「認知症カフェ」を開催します。	認知症サポーター養成講座を開催した。 ・認知症カフェは8月に運営委員会を設立し、地域の方から協力してもらえるよう工夫し、実施した。防災無線等で徐々に周知ができ、参加者も増えているが、認知症についての話が聞きたい、運動をしたいなどのニーズもあり、次年度に向けて内容の充実を図る。
c. 介護技術を地域に広め、介護者の介護負担の軽減と情報交換の場として「介護者のつどい」を開催します。	・年11回、予定通り開催し、介護者の苦勞をねぎらいながら介護の知識や介護者自身の健康に関する情報提供を行った。1名新規で参加できるようになり、介護者同士で話をしながら介護の思いを共感し、ストレスを発散する場となっている。

### 1-2-2) 居宅介護支援事業所

部門目標：利用者と家族の安心した生活の継続を総合的に支援し最善の利益を追求する。	
重点目標	実施状況・期末評価
①職員の資質の向上に継続して取り組み、利用者の自律・自立した生活を支援します。	・研修や実務で学んだことを支援に反映できたところもあった。支援が必要な状態にも関わらず、理解が得られず適時に適切な介入ができずに支援が遅れてしまったこともあった。 ・各種研修等には参加できている。利用者一人ひとりの話を傾聴し対応している。まだまだ課題を自律支援の視点で捉えているかについては自信がない。さらに精進する必要があると思っている。
②地域包括支援センターや関係機関と連携・協働して、利用者の最適な支援方法を検討しながら安心して暮らせる地域づくりの役割を担います。	・地域ケア会議には事例提供を行い、司会を担当するなど大潟区に所在する事業所の役割は果たせたと思う。支援困難な事例では地域包括支援センターの職員から指導・助言を仰ぎ、相談しながら個別支援は行えた。しかし、地域全体に視野を広げる余裕がなく、その意識は薄れていたことを反省する。 ・地域包括支援センターや各サービス事業者と相談し支援方法を考えている。
③利用者の代弁機能を果たし、権利擁護に努めます。	・利用者の強みに目を向け、利用者や家族が選択・決定ができるよう必要な情報提供を行い、支援ができた。 ・利用者や家族の気持ちや考えを聞き、サービス調整やサービス利用時の対応を要望に近い形で対応してもらえるよう代弁した。
④担当の受持件数を年間で10人、増やします。	<担当受持人数> ・27年度 1,189人/年(月平均99人) ・26年度 1,072人/年(月平均89人)

### 1-2-3) デイサービスセンター

部門目標：笑顔大切に常に感謝の気持ちを持ち、楽しく過ごしていただけるサービスの提供に努めます。	
重点目標	実施状況・期末評価
①くつろげる雰囲気づくりに努めます。	・マッサージ器の使用や臥床の声かけ、好みのテレビ番組を録画し利用時に流すなど取り組んだ。春から夏にかけては畑作業を行い、水やりや収穫を楽しむことができた。来年度は更にくつろいでいただくことができるように、サービス面と設備面でくつろぎスペースの作成に取り組んでいく。

<p>②ご利用者様、ご家族様の要望に応じたサービスを提供します。</p>	<p>・短時間利用、帰宅時間変更等ご家族様の希望はできるかぎり対応するように心掛けた。ご利用者様のご希望は在宅で生活されている方はご家族様の希望も確認しなければならない為、必ずしもご利用者様のご希望通りに支援することはできないこともあった。</p>
<p>③選べる活動を提供し、楽しみの持てる余暇活動の充実を図ります。</p>	<p>・レク係やその月の係が中心となって毎月選択レクの内容を検討した。手作業で作る物や脳トレ等新しいものを用意し、マンネリにならないように工夫した。今後も新たな行事やレク内容を検討していく。</p>
<p>④新規依頼には迅速に対応し、早期利用につなげるとともに、毎月の利用者延べ人数650人を目指します。(毎日の利用者数24名以上)</p>	<p>・年間新規受入数18件であった。依頼にはその場で返答し相手を待たすことの無いように努めた。お試し利用の希望があれば対応し利用につなげることができた。毎月の延利用者数は平均で615人(一日平均23.5人)と目標を達成することができなかつたが、年間の延利用者数は前年度を900人以上上回った。来年度は営業や地域への情報の発信の方法を検討しさらなる利用者増を目指していきたい。</p>
<p>⑤在宅支援課各部門や関係機関と連携を図り、情報を共有し、在宅生活が続けられるように支援します。</p>	<p>・デイサービスの情報を忙しい時など担当ケアマネに報告することを忘れてしまい後日の報告になることもあった。利用者の対応変更等ケアマネに確認し家族の意向も確認し対応変更がスムーズにできるケースもあった。今後も関係機関と連携を図り、在宅生活を支えていけるデイサービスでありたい。</p>

### 1-3)高齡介護課 特別養護老人ホームしおさいの里

部門目標：①利用者の基本的人権を尊重し、その人らしく生活できることを大切にしながら支援します。

②利用者の満足のいくサービス提供を心がけます。

③専門職として高い知識をもち個々の役割と責任を認識しながら資質向上に努めます。

重点目標	実施状況・期末評価
<p>①常に利用者の立場に立った支援を行います。</p>	<p>・ケアプランに沿った援助を心がけ、利用者の日々変化する状態、状況に合わせ、都度職員間で相談し合い対応している。</p> <p>・職員都合にならず可能な限りその方の立場に立った支援ができた。</p> <p>・要望に直ぐに対応できない時にはしっかり説明し、理解を得よう努めた。</p>
<p>②一人ひとりの個性に合わせ安心、安全に生活できるように工夫します。</p>	<p>・利用者が過ごしやすく且つ安心・安全に生活できるよう相談し合い、都度環境整備に努めた。</p> <p>・担当職員中心に利用者の対応や検討を行ってきたが、困難事例等もあり対応が少し遅れることもあった。常に危険予測を行い最短で実施できるよう工夫が必要と思われる。</p> <p>・利用者の尊厳を損なう不適切な事例については組織として真摯に受け止めるとともに、職員間で振り返りを行い、ケア体制の見直しに取り組んだ。</p> <p>・職員欠員状態で業務を行ってきたが、工夫と連携で利用者へのサービスの低下を防ぎ、安心・安全に生活できるよう取り組んできた。</p> <p>・移乗用のボードの導入・活用で利用者・職員共に安全な支援がで</p>

	きるよう取り組んだ。
③職員間のコミュニケーションを大切にし、他職種連携の基、情報共有を図りながら支援します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段から必ず挨拶を行いコミュニケーションを図るよう努めた。</li> <li>・情報共有は口頭だけでなく連絡帳を通じて行えている。</li> <li>・利用者の対応に関しては介護職員だけでなく必ず他職種等でも相談・検討し合いより良い支援に繋げるよう努めた。</li> <li>・情報はしっかり申し送り細かい事でも話ができるよう意識した。</li> </ul>
④ご家族や利用者の意向を尊重し、寄り添った支援を心がけ実施します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者・家人の思いを良く聞き、より良い支援が行えるよう努めた。</li> <li>・面会時にはより細かな状態報告をし、安心して頂き、信頼関係を築けるよう心掛けている。</li> <li>・職員体制においては迷惑をかけることもあったが、改善に努め、誠意ある対応を心がけた。</li> <li>・利用者やご家族の意向を受け止め支援できた。</li> <li>・三か月の評価やカンファレンス毎にも意向確認を行い、より直近の思いを受け止め支援に繋げている。</li> </ul>
⑤職員が働きやすい職場環境を作り、専門性の高い職員を目指し、研修や自己研鑽に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員体制の充実に欠け、一人ひとりの負担が大きくなってしまった。</li> <li>・研修に積極的に参加する職員が減少し、スキルアップに繋げることができなかった。</li> <li>・職員一人ひとりの意識改革に努め、風通しの良い職場環境の改善を職員一丸となり取り組み、継続して実施していく。</li> </ul>

### 1-3-1)しおさいの里 2丁目

部門目標：一人ひとりの思いを大切にし、利用者と職員が共に笑顔で生活できるように、寄り添った支援を心がけます。	
重点目標	実施状況・期末評価
①担当職員が中心となり、利用者の思いを引き出していきます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定の利用者の対応で他利用者の話を傾聴するまでに至らない事が多かった。</li> <li>・担当職員が思いを聞き出せても直ぐには対応できないこともあったが、時間が空いても必ず対応するよう努めている。</li> </ul>
②自分だったらと考え、利用者の気持ちを探りながら支援していきます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当が中心となり利用者の求める支援を探ることができている。</li> <li>しかし、実施に時間を要してしまうこともあり、極力素早い対応ができるよう努めている。</li> </ul>

### 1-3-2)しおさいの里 3丁目

部門目標：①利用者が日々安心安全に、その人らしく生活が送れるように支援します。 ②利用者職員共に笑顔で、より良いサービス提供が行えるよう、働きやすい環境を作ります。	
重点目標	実施状況・期末評価
①介護職員として知識・技術を常に学び、生かし、利用者個々に合わせた援助を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルの活用や研修に参加し、介助方法等生かせるよう努力している。</li> <li>・利用者個々に合わせ、他職種と連携しながらより良い援助を行えた。</li> </ul>

②職員間のコミュニケーションを通し、互いに信頼関係を築き、専門職としての意識向上を目指します。	・コミュニケーションを図ることでお互い不足している部分を補い、協力し合いながら連携を図っている。 ・専門職として意識向上が薄いと感じる職員もいるが、遠慮なく聞いたり伝えたりすることで統一した援助を行い、事故防止にも努めている。
③チームで協力し合い、「一人は皆の為に、皆は一人の為に支え合い、助け合い、思いやりを持つ」ということを念頭におき行動します。	・チームで協力し合っているが、1人に負担がかかってしまうこともあり、思いやりの気持ちに欠けてしまうこともあったが、声かけあい連携を図れるよう努めた。
④他職種との連携を密に取り、互いに相談しやすい環境を作り、利用者の日々の変化の情報を共有し、事故防止に努めます。	・他職種と連携を図り情報共有することができている。 ・職員間での話し合いや他職種への相談等密に行い、情報が不足しないよう努めた。
⑤利用者に笑顔で寄り添い心にゆとりを持てるよう、一呼吸おき対応します。	・同時対応が重なることもあり、対応に追われゆとりが持てなくなる時もあるが、声をかけ合い笑顔で利用者に対応できるよう努めた。

### 1-3-3)しおさいの里 6丁目

部門目標：利用者に寄り添い、笑顔あふれる満足のいく生活を送れるよう一人ひとりをしっかりと見つけ支援します。	
重点目標	実施状況・期末評価
①利用者とのコミュニケーションを大切にし、一人ひとりのニーズを汲み取って日常生活に反映させていきます。	・利用者の重度化や職員の減少が影響し、利用者個々の時間を設けることが難しかった。 ・業務の合間を見て少しでもニーズや訴えに応えられるよう努めた。
②利用者に対して、人権侵害になるような行為は絶対行わず、笑顔と暖かい気持ちを持って、誠意ある対応に努めます。	・不適切な行為、虐待をしてはいけないという事を職員間で確認し合い、改善すべき点について意見交換を行った。
③オムツゼロ運動を推進するため、座位排泄、パッドの見直し、水分摂取などに力を入れていきます。	・排泄係が中心となり行ってきたが、現状を維持することで精いっぱいであり、推進には至っていない。 ・水分摂取を増やしたり、食物繊維の摂取にて座位排泄での効果が見られた。
④職員間のコミュニケーションを円滑にし、利用者にとってプラスとなる効率的な業務体制を目指します。	・時間外残業が解消できず、改善に向けて7丁目との調整を今後も行って行く。 ・6・7丁目職員間のコミュニケーションの円滑を図る。

### 1-3-4)しおさいの里 7丁目

部門目標：「福祉は心」「介護は笑顔」を大切にし、一人ひとりの活動がその人らしい生活であることを大切にしながら支援します。	
重点目標	実施状況・期末評価
①利用者一人ひとりの生活、活動を尊重した介助を行います。	・担当中心となりその方に合った活動を提供できた。 ・2月は発熱者の拡大により、十分な活動の支援ができなかった。
②職員間の連携を密にし、どの職員が対応しても利用者一人ひとりのニーズに合った支援を行います。	・中途採用職員の研修もしっかり行うことができ、皆が同じ支援を行うことができた。
③人権侵害・不適切な行為は絶対行わず、誠意	・不適切に結びつくような行為は見られず達成できた。

を持って対応します。	
④専門職として研修会にしっかり参加し、自己研鑽に努めます。	・勤務調整にて研修参加率を上げることができ、今後も継続していく。

### 1-3-5)しおさいの里 5丁目(ショートステイ)

部門目標：新規の方が何度も利用していただける心のこもったサービスの提供に努めます。	
重点目標	実施状況・期末評価
①利用者の好みを把握し、利用者や家族の意向を汲み取り、気持ちに寄り添った対応を心がけ、安心して利用できるよう努めます。	・利用者や家族の思いを大切に、意向に添えるよう対応を心がけた。 ・職員都合になっていることがあった。気付いた時は反省し、再度意識できるよう心がけた。
②医療度の高い利用者も含め、あらゆる利用者の方も積極的に受け入れることに努め、毎月の利用者延べ人数 310 人を目指します。(1日の利用人数 10 人以上)	・ロング利用の方で特養入所された方や、体調不良により利用中止の方もいた。目標値を下回った月もあったが、受け入れ状況の緩和で今後も新規利用者獲得も含め目標値に近づけるよう取り組む。
③広報「しおさい」やショートステイのチラシを地域に回覧し、地域の方に施設の情報提供を行い、ショートステイの利用につなげて行きます。	・2月新しいパンフレット作成に取り組んだ。 ・ホームページのブログにも活動内容等情報を掲載している。

### 1-3-6)看護

部門目標：利用者やご家族の意向を尊重した健康管理援助が提供できるように努めます。	
重点目標	実施状況・期末評価
①ご家族や利用者の意向や気持ちを汲み取り、一人ひとりのニーズに合わせたケアがおこなえるようにします。	・意向確認ファイルを作成し、活用している。 ・状態変化の際には意向を取り直し、その時の気持ちに添えるようにしている。
②終末期や急性期には意向に合わせた援助が速やかに行えるようにします。 a.入所時、状態変化時に、ご家族や利用者の気持ちを相談員と確認します。 b.意向内容は、医師、看護師、その他他職種と共有して統一した支援ができるようにします。 c.ご家族や利用者の気持ちは揺れ動くため、都度気持ちに寄り添って傾聴し、同じ認識を持つるようにしていきます。	・入所時の意向確認書式を他職種と検討し、進めている。 ・利用者本人の意向確認も継続する。 ・他職種で情報は共有し、統一した支援ができています。 ・都度気持ちに寄り添っていくことは実施できている。

### 1-3-7)機能訓練

部門目標：業務の効率化や他職種との連携を図って、利用者への援助を行っていきます。	
重点目標	実施状況・期末評価
①専門職の視点から、利用者の能力や可能性を念頭に置いた支援に努めます。	・業務の効率化や他職種との連携を図り援助に繋げている。 ・日々の業務の中で時間を置かず課題を解決していくことができている。 ・訓練員の立場で意見を述べたり、書類や資料の提出もできている。

<居宅介護支援:しおさいの里居宅介護支援事業所>

実人数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		チェックリスト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
要支援1	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1	1	1	1	15
要支援2	5	5	6	6	8	9	9	9	9	9	9	9	10	94
要介護1	26	25	26	25	26	25	28	30	30	30	27	27	25	320
要介護2	33	33	35	35	35	36	31	30	30	30	29	28	26	381
要介護3	19	19	18	17	16	17	13	13	13	12	13	13	15	185
要介護4	8	7	9	9	10	15	12	11	9	11	9	12	12	122
要介護5	8	6	6	7	5	5	6	5	5	5	6	5	6	70
合計	100	96	101	100	102	109	101	99	97	95	93	96	96	1,189

平均要介護度 2.26 2.20 2.20 2.23 2.13 2.23 2.15 2.09 2.06 2.15 2.07 2.19 2.17

\* 平均要介護度:要支援1=0.375、要支援2=1で計算

(前年度2.47)

<介護予防支援:地域包括支援センターうのはな苑>

実人数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		チェックリスト	1	5	6	7	9	10	16	18	20	20	22	25
要支援1	36	35	32	27	29	30	28	27	27	25	23	22	341	
要支援2	42	39	39	42	44	45	38	37	38	34	33	32	463	
合計	79	79	77	76	82	85	82	82	85	79	78	79	963	

平均要介護度 0.70 0.66 0.66 0.69 0.67 0.66 0.59 0.57 0.57 0.55 0.53 0.51 0.61

\* 平均要介護度:要支援1=0.375、要支援2=1で計算

(前年度0.71)

2. 障害支援部門

<障害者支援施設さいはま園:生活介護>

延人数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3	22	23	25	28	27	30	31	29	33	31	28	31	338	
区分4	66	69	66	69	69	66	69	66	64	64	63	69	800	
区分5	88	92	88	92	92	88	92	88	76	83	84	92	1,055	
区分6	264	253	264	269	276	264	276	254	264	276	252	276	3,188	
合計	440	437	443	458	464	448	468	437	437	454	427	468	5,381	
実人数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
区分4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
区分5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
区分6	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
合計	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
運営日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	23	21	23	270
利用率(%)		100.0	95.0	100.7	99.6	100.9	101.8	101.7	99.3	95.0	98.7	101.7	101.7	99.6
平均障害程度区分		5.35	5.32	5.33	5.31	5.33	5.31	5.31	5.30	5.31	5.33	5.31	5.31	5.32

<障害者支援施設さいはま園:施設入所支援>

延人数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		区分3以上	600	589	570	597	620	600	619	582	562	589	580	620
運営日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	
利用率(%)		100.0	95.0	95.0	96.3	100.0	100.0	99.8	97.0	90.6	95.0	100.0	100.0	97.4

<障害者支援施設さいはま園:短期入所>

延人数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3	14	35	25	39	44	20	15	16	15	17	17	8	8	265
区分4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	8	0	17
区分5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
区分6	34	23	25	30	30	27	26	30	29	21	24	26	325	
区分1(児)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2(児)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3(児)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	55	63	55	74	79	52	46	51	49	50	54	39	667	
実人数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3	1	2	2	2	2	2	1	1	1	1	2	2	19	
区分4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3	
区分5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
区分6	5	4	5	4	4	4	5	4	4	4	3	3	49	
区分1(児)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2(児)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3(児)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8	7	8	7	7	7	6	7	6	7	7	6	83	
運営日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	
平均利用者数/運営日数	障害者	1.8	2.0	1.8	2.4	2.5	1.7	1.5	1.7	1.6	1.6	1.9	1.3	1.8
障害児	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	1.8	2.0	1.8	2.4	2.5	1.7	1.5	1.7	1.6	1.6	1.9	1.3	1.8	
利用率(%)		91.7	101.5	91.7	119.4	127.4	86.7	74.2	85.0	79.0	80.5	93.1	62.9	91.1
平均障害程度区分(障害児除く)		5.07	4.25	4.55	4.35	4.27	4.75	4.91	4.96	4.98	4.60	4.67	5.26	4.67

长年

年度別利用率の推移(過去10年間)

1. 高齢部門

<介護老人福祉施設:特別養護老人ホームしおさいの里> 定員:104人

	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度
運営日数(日)	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366
延べ利用者数(人)	34,824	34,388	34,829	34,397	35,491	34,745	34,987	35,060	35,599	36,671
1日平均利用者数(人)	95.4	93.9	95.4	94.2	97.2	94.9	95.9	96.1	97.5	100.2
利用率(%)	95.4	93.9	95.4	94.2	97.2	94.9	95.9	96.1	97.5	97.6
平均要介護度	3.96	4	4.02	4.12	4.11	4.12	3.94	3.86	3.72	3.69

\*平成27年8月1日より100人から104人に定員変更

<(介護予防)通所介護:デイサービスセンターゆりかご荘> 定員:30人

	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度
運営日数(日)	316	313	313	313	313	314	311	313	313	314
延べ利用者数(人)	7,073	7,564	7,448	7,073	7,330	7,650	6,628	6,577	6,444	7,380
1日平均利用者数(人)	20.4	24.2	23.8	22.6	23.4	24.4	21.3	21	20.5	23.5
利用率(%)	68.2	80.5	79.3	75.3	78	81.2	71	70	68.6	78.3
平均要介護度	2.93	2.9	2.94	2.85	2.45	2.29	2.56	2.7	2.36	2.35

\*平均要介護度:平成22年度より要支援(1・2)を含めた数値(下段)。

<(介護予防)短期入所生活介護:しおさいの里ショートステイ> 定員:12人

	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度
運営日数(日)	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366
延べ利用者数(人)	4,773	4,691	4,423	4,115	4,073	4,326	4,682	4,572	4,934	4,173
1日平均利用者数(人)	13.1	12.8	12.1	11.2	11.1	11.8	12.8	12.5	13.5	11.4
利用率(%)	93.6	91.4	86.6	80.5	79.6	84.4	91.6	89.5	84.5	85.6
平均要介護度	3.57	3.35	3.19	3.12	2.83	2.81	3.14	3.3	3.1	2.98

\*平成26年4月1日より14人から16人に定員変更

\*平成27年8月1日より16人から12人に定員変更

\*平均要介護度:平成22年度より要支援(1・2)を含めた数値(下段)。

2. 障害部門

<身体障害者療護施設さいはま園:入所> 定員:20人 \*H23. 3. 31廃止

	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度
運営日数(日)	365	366	365	365	365
延べ利用者数(人)	6,959	7,087	7,023	7,070	7,083
1日平均利用者数(人)	19.0	19.3	19.2	19.3	19.4
利用率(%)	95	96.5	96	96.5	97

<障害者支援施設さいはま園:生活介護> 定員:20人 \*H23. 4. 1開始

	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度
運営日数(日)	270	269	269	269	270
延べ利用者数(人)	5,312	5,309	5,166	5,212	5,381
1日平均利用者数(人)	19.6	19.7	19.2	19.3	19.9
利用率(%)	98.4	98.7	96	96.9	99.6

<障害者支援施設さいはま園:施設入所支援> 定員:20人 \*H23. 4. 1開始

	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度
運営日数(日)	366	365	365	365	366
延べ利用者数(人)	7,117	7,125	6,908	6,916	7,128
1日平均利用者数(人)	19.4	19.5	18.9	18.9	19.4
利用率(%)	97.2	97.6	94.6	94.7	97.4

<短期入所:さいはま園ショートステイ> 定員:2人

	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度
運営日数(日)	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366
延べ利用者数(人)	89	478	635	540	603	615	428	500	643	667
1日平均利用者数(人)	0.2	1.3	1.7	1.5	1.6	1.6	1.1	1.4	1.7	1.8
利用率(%)	12.2	65.3	86.9	67.5	82.6	84	58.6	68.5	88.1	91.1

入所利用者の状況(平成28年3月31日現在)

1. 特別養護老人ホーム  
しおさいの里(定員:104人)

(1)年齢構成

年齢	男性	女性	男女計
～59	1	1	2
60～64	1	0	1
65～69	6	2	8
70～74	1	5	6
75～79	6	11	17
80～84	7	7	14
85～89	7	22	29
90～94	0	19	19
95～	0	6	6
合計	29	73	102
平均年齢	76.7	82.7	80.9
最年長	89	99	99
最年少	51	57	51

(2)要介護度

	男性	女性	男女計
要介護1	1	2	3
要介護2	5	11	16
要介護3	7	12	19
要介護4	8	21	29
要介護5	8	27	35
合計	29	73	102

\* 平均要介護度:3.75

(3)保険者

上越市	(大潟区)	29	100
	(柿崎区)	21	
	(頸城区)	8	
	(吉川区)	7	
	(上記以外)	35	
柏崎市		2	
合計		102	

2. 障害者支援施設  
さいはま園(定員:20人)

(1)年齢構成

年齢	男性	女性	男女計
～39	1	0	1
40～49	2	1	3
50～59	3	1	4
60～69	6	3	9
70～	3	0	3
合計	15	5	20
平均年齢	58.7	57	58.2
最年長	81	66	81
最年少	25	43	25

(2)障害程度区分

	男性	女性	男女計
区分1	0	0	0
区分2	0	0	0
区分3	1	0	1
区分4	1	2	3
区分5	4	0	4
区分6	9	3	12
合計	15	5	20

\* 平均障害程度区分:5.35

(3)保険者

上越市	(大潟区)	6	19
	(柿崎区)	2	
	(頸城区)	1	
	(吉川区)	4	
	(上記以外)	6	
上越市以外の市町村		1	
合計		20	

3. 医療の状況

(1)入院の状況

しおさいの里	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度
延べ入院者数(人)	55	31	32	35	23	27	23
総入院日数(日)	1,618	794	670	767	730	604	546
平均入院日数(日)	29	26	20.9	21.9	31.7	22.3	23.7

さいはま園	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度
延べ入院者数(人)	8	5	12	9	17	21	8
総入院日数(日)	193	182	226	187	408	409	184
平均入院日数(日)	24	36	18	20	24	19.4	23

(2)経管栄養管理が必要な利用者数の推移(しおさいの里・さいはま園)

H20.3.31 現在	H21.3.31 現在	H22.3.31 現在	H23.3.31 現在	H24.3.31 現在	H25.3.31 現在	H26.3.31 現在	H27.3.31 現在	H28.3.31 現在
18	18	27	26	22	21	18	14	11

(3)痰の吸引が必要な利用者数の推移(しおさいの里・さいはま園)

H27.3.31 現在	H28.3.31 現在
28	31

#### 4. 事故報告等

##### 4-1. 事故報告の状況(報告先:高齢部門・各保険者、障害部門・新潟県)

27年度	特養入所	短期入所	通所介護	障害支援	合計
骨折	8			1	9
誤薬・誤飲				1	1
その他					0
計	8	0	0	2	10

前年度	特養入所	短期入所	通所介護	障害支援	合計
	3	1			4
	2	1		5	8
					0
	5	2	0	5	12

##### 4-2. 感染症等発生報告(報告先:新潟県)

インフルエンザ	利用者	職員	*特養入所部門
	1	5	
感染性胃腸炎	利用者	職員	*特養入所部門(H27.4月)
	14	3	

前年度	利用者	職員
	18	10
	0	
	1	

#### 5. 退所者の推移

しおさいの里	~平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	累計
施設内で逝去(看取り)	70	12	19	5	9	5	24	15	12	14	14	199
医療機関で逝去	30	6	8	4	5	1	3	5	5	5	1	73
自宅復帰又は自宅で看取り	2		1									5
医療機関等へ転院(長期入院等)	5	1	2	1	4			1	2	1	1	18
合計	107	19	30	10	18	6	27	21	19	21	17	295

さいはま園	~平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	累計
施設内で逝去(看取り)				1								1
医療機関で逝去	3	1							1	1		6
自宅復帰(地域移行)	1	1										2
医療機関等へ転院(長期入院等)					2			1	1	1		5
合計	4	2	0	1	2	0	0	1	2	2	0	14

#### 6. 入所待機者の状況

##### (しおさいの里)

	上越市					他市町村	合計
	大潟区	柿崎区	頸城区	吉川区	左記以外		
H19.3.31現在	77	71	33	40	90		311
H20.3.31現在	87	74	32	43	117		353
H21.3.31現在	100	95	39	47	140		421
H22.3.31現在	84	98	41	53	157		433
H23.3.31現在	89	98	49	51	168	10	465
H24.3.31現在	82	84	56	63	172	10	467
H25.3.31現在	93	94	69	81	205	17	559
H26.3.31現在	95	92	67	88	188	17	547
H27.3.31現在	84	67	48	76	146	15	436
H28.3.31現在	37	35	20	27	71	7	197

##### (さいはま園)

上越市	他市町村
	11
	11
	12
	10
	13
	13
	12
11	2

事業・職種別職員数一覧

H28.3.31現在

職種別	事業別	特養入所	障害支援	通所介護	地域包括支援	居宅介護支援	合計
統括施設長	正職員	1					1
	臨時職員						0
	パート職員						0
	合計	1	0	0	0	0	1
課長 (事務長含む)	正職員	3	1				4
	臨時職員						0
	パート職員						0
	合計	3	1	0	0	0	4
事務員	正職員	1	1				2
	臨時職員						0
	パート職員						0
	合計	1	1	0	0	0	2
生活相談員 (サービス管理責任者 含む)	正職員	2	1	2			5
	臨時職員						0
	パート職員						0
	合計	2	1	2	0	0	5
介護支援専門員	正職員	2			1	3	6
	臨時職員						0
	パート職員						0
	合計	2	0	0	1	3	6
社会福祉士	正職員				1		1
	臨時職員						0
	パート職員						0
	合計	0	0	0	1	0	1
看護職員	正職員	4	2		1		7
	臨時職員			1			1
	パート職員	3		2			5
	合計	7	2	3	1	0	13
機能訓練員	正職員	1	1	0			2
	臨時職員						0
	パート職員						0
	合計	1	1	0	0	0	2
介護職員(生活支援員)	正職員	42	9	1			52
	臨時職員	9	1	7			17
	パート職員	3	2	1			6
	合計	54	12	9	0	0	75
管理栄養士	正職員	1					1
	臨時職員						0
	パート職員						0
	合計	1	0	0	0	0	1
調理員	正職員	3	2				5
	臨時職員	1					1
	パート職員	1					1
	合計	5	2	0	0	0	7
施設支援員	正職員	1					1
	臨時職員						0
	パート職員						0
	合計	1	0	0	0	0	1
清掃洗濯員	正職員						0
	臨時職員						0
	パート職員	3	2				5
	合計	3	2	0	0	0	5
宿日直代行員	正職員						0
	臨時職員						0
	パート職員	1					1
	合計	1	0	0	0	0	1
保安員	正職員						0
	臨時職員	1					1
	パート職員						0
	合計	1	0	0	0	0	1
運転員	正職員						0
	臨時職員						0
	パート職員	1	1	2			4
	合計	1	1	2	0	0	4
(嘱託医師)	正職員						0
	臨時職員						0
	パート職員	②	①				③
	合計	②	①				③
合計	正職員	61	17	3	3	3	87
	臨時職員	11	1	8	0	0	20
	パート職員	12	5	5	0	0	22
	合計	84	23	16	3	3	129

\*H28.3.31付け退職者含む

## 職員の動向等

### 1. 採用の状況(平成27年4月1日～平成28年3月31日、平成28年4月1日付採用内定者含む)

	介護職員	生活相談員 (介護職兼)	看護職員	調理員	運転員	宿直代行員	27年度計	26年度計	25年度計
応募者数	13	1	5	1	2	1	23	4	9
採用内定者数	8	1	5	1	2	1	18	3	6
採用辞退者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本採用者数	8	1	5	1	2	1	18	2	6

  

雇用形態	正規	臨時	非常勤	計
	5	4	9	18

  

採用区分	新卒	中途	障害者	計
	1	16	1	18

### 2. 退職の状況(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

退職者数	介護職員	看護職員	調理員	清掃員	27年度計	26年度計	25年度計	24年度計
	7	2	1	1	11	19	17	13

  

雇用形態	正規	臨時	非常勤
	3	3	5

### 3. 安全衛生管理の状況(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

#### 3-1) 職員の平均年齢・性別(平成28年3月31日現在)

職員数	男性	女性	平均年齢	
129名	34名	95名	42.1歳	27年度
126名	31名	95名	42.2歳	26年度

#### 3-2) 職員健康診断の実施状況

定期健康診断	5月 (夜勤者)	11月 (全職員)	合計
受診者	47	119	166
要精密検査	11	62	73
産業医面談実施	0	7	7

腰痛健診	3月(介護職員)
受診者	44
要再検査	0
腰痛の有無	ある(34%)   ない(66%)

#### 3-3) 労働災害発生状況

内容	勤務中	通勤途上	合計
	3	0	3

### 4. 育児休業の状況(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	女性	配偶者が出産した男性	合計
出産者	2	0	2
育児休業者	3	0	3

### 5. 介護休業の状況(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

介護休業者	女性	男性	合計
	0	0	0

平成27年度施設外研修等一覧

日付	研修会名	主催	場所	参加者	参加人数
4/8	27年度障害福祉関係施設長会議	新潟県障害福祉課	新潟市	支援課長、相談	2
4/16	第1回大潟区介護支援専門員連絡会	地域包括支援センターうのはな苑	市内	居宅支援	3
4/21	第2回上越在宅医療連携懇話会	MSD(株)	市内	居宅支援	2
5/4	老人介護 基本のき	(株)雪母書房	長野市	介護	4
5/11	特別養護老人ホームの整備に伴う入所者の決定に関する打合せ	上越市高齢者支援課	市内	介護課長、相談	2
5/21	第1回大潟区個別地域ケア会議	大潟区総合事務所	市内	居宅支援	3
5/29	27年度定時総会及び第1回管理者研修会	新潟県老人福祉施設協議会	新潟市	施設長、介護課長	2
6/4,5	関東ブロック職員支援力アップ勉強会	関東甲信越地区身体障害者施設協議会	東京都	介護	1
6/4,5	27年度第1回総会・施設長会議	関東甲信越地区身体障害者施設協議会	東京都	施設長	1
6/5	サンクスレヒの森 内覧会	社会福祉法人みんなでき	市内	介護課長、相談	2
6/10	食中毒事故の容赦と予防のための衛生管理について	(株)タマルヤ	市内	栄養	1
6/15地4日	27年度介護支援専門員専門研修・更新研修	新潟県介護支援専門員協会	新潟市	居宅支援	1
6/18	第2回大潟区介護支援専門員連絡会	地域包括支援センターうのはな苑	市内	居宅支援	2
6/23	27年度第1回総会・施設長庶務担当課長会議	新潟県身体障害者施設協議会	長岡市	施設長、支援課長	2
6/26	上越地区老人福祉施設 施設長・事務長会議	上越地区老人福祉施設 施設長・事務長会議	市内	施設長、事務長	2
7/6	改正労働安全衛生法説明会	上越労働基準監督署	市内	管理課長	1
7/9	特別養護老人ホーム入所指針の改正に係る施設長会議	上越市高齢者支援課	市内	施設長	1
7/9,10	全国身体障害者施設協議会研修大会	全国身体障害者施設協議会	仙台市	介護	3
7/10	27年度第1回合同役員会	頸北消防署	市内	施設長	1
7/15	真柄福祉財団上越地域障害者支援施設協議会	上越地域障害者支援施設協議会	妙高市	支援課長、相談	2
7/15	上越地域居宅介護支援事業推進協議会講演会	上越地域居宅介護支援事業推進協議会	市内	居宅支援	3
7/16	第2回大潟区個別地域ケア会議	大潟区総合事務所	市内	居宅支援	2
7/17,18	施設経営勉強会	あさひ園	弥彦村	支援課長、相談	2
7/23	第5ブロック部会27年度第1回研修会	新潟県老人福祉施設協議会	市内	施設長、介護課長、相談	3
7/24	27年度上越地区老人福祉施設事務員連絡会議	上越地区老人福祉施設事務員連絡会議	市内	事務	1
8/1~14	27年度喀痰吸引等研修	上越老人福祉協会	市内	介護	1
8/4	27年度安全運転管理者等講習	新潟県安全運転管理者協会	市内	施設長	1
8/12	27年度介護支援専門員専門研修・更新研修	新潟県介護支援専門員協会	新潟市	居宅支援	1
8/18	公正な採用選考に向けた研修会	上越公共職業安定所	市内	副施設長	1
8/19	27年度新潟県認知症介護実践者研修 総括講座	長岡三古老人福祉会	長岡市	地域包括	2
8/20	27年度新潟県身体障害者施設協議会職員研修会	新潟県身体障害者施設協議会	長岡市	介護	1
8/20	大潟区介護支援専門員連絡会	地域包括支援センターうのはな苑	市内	居宅支援	2
8/25	27年度国勢調査 調査員事務打合せ	上越市企画政策課	市内	事務長	1
8/27	第34回担当者研修会	上越地域職域健康づくり連絡協議会	市内	管理課長	1
9/2	第23回新潟県老人福祉施設研究大会	新潟県老人福祉施設協議会	新潟市	介護課長、介護	3
9/5	第30回井部会経営革新セミナー	井部税理士事務所	市内	管理課長	1
9/17	第3回大潟区個別地域ケア会議	大潟区総合事務所	市内	居宅支援	1
9/30	27年度医療・介護従事者研修	上越地域振興局健康福祉環境部	市内	居宅支援	1
9/30~10/30	認知症介護実践者研修	新潟県高齢福祉保健課	市内	介護	1
10/~11	新潟県介護支援専門員実務従事者基礎研修	新潟県老人福祉施設協議会	新潟市	市内	1
10/6	27年度通所介護事業所集団指導	新潟県国保・福祉指導課	市内	相談	1
10/13	成年後見人研修	新潟県社会福祉協議会	長岡市	相談	1
10/14	第17回外部研修会	上越地域職域健康づくり連絡協議会	長野市	管理課長	1
10/15	大潟区介護支援専門員連絡会	地域包括支援センターうのはな苑	市内	居宅支援	3
10/16	27年度身体障害者施設協議会支援担当課長会議	新潟県身体障害者施設協議会	長岡市	支援課長、相談	2
10/21	スキルアップ研修 障がい者へ寄り添う支援	エイシン福祉教育センター	新潟市	介護	1
11/4	居宅サービスにおける医療と介護の連携について	エフビー介護サービス(株)	市内	居宅支援	3
11/5	第5回上越市頸北地区認知症セミナー	エーザイ(株)	市内	居宅支援	1
11/6	新潟労災病院と地域の連携支援・多職種意見交換会	上越地域在宅医療連携協議会	市内	居宅支援	1
11/8	日常ながら運動健康法ダンベル&健脳体操	ダンベル健康体操指導協会DELA新潟支部	長岡市	機能訓練、介護	2
11/11	新潟県ワークライフバランス推進セミナー「職場の祭典」	グローカルマーケティング(株)	市内	副施設長	1
11/11	27年度上越地域職域健康づくり連絡協議会	上越地域職域健康づくり連絡協議会	市内	管理課長	1
11/12	社会福祉施設防火管理研修会	上越地域消防事務組合	市内	施設長	1
11/13	27年度第2回新潟県身体障害者施設協議会庶務担当者会議	新潟県身体障害者施設協議会	長岡市	管理課長、事務	2
11/19	次代の経営層を対象とした経営改善手法の研修	新潟県老人福祉施設協議会	三条市	副施設長	1
11/19	H28年第1回ふくしのひろば実行委員会	ふくしのひろば実行委員会	市内	支援課長	1
11/20	年末調整説明会	高田税務署	市内	事務	2
11/20	「地域包括ケア」あなたは何をする人?~社会福祉士の役割~	新潟県社会福祉士会	新潟市	地域包括	2
11/20	在宅医療を考える多職種協働セミナー	上越薬剤師会	市内	居宅支援	2
11/20	27年度上越地域高齢者自殺予防研修会	上越地域振興局健康福祉環境部	市内	地域包括	1
11/25	介護予防ケアマネジメントについて	上越地域居宅介護支援事業推進協議会	市内	居宅支援	2
11/25	第5ブロック部会27年度第2回研修会	新潟県老人福祉施設協議会	市内	施設長、相談	3
11/26	介護裁判から学ぶリスクマネジメントと成年後見制度の活用	エイシン福祉教育センター	新潟市	介護	1
11/26	第4回大潟区個別地域ケア会議	大潟区総合事務所	市内	居宅支援	2
11/30	27年度介護支援専門員実務研修等指導者連絡会	新潟県介護支援専門員協会	新潟市	居宅支援	1
12/2	27年度第2回総会・施設長会議	関東甲信越地区身体障害者施設協議会	高崎市	施設長	1
12/22	新潟県健康福祉ビジョン地域推進研修会	上越地域振興局健康福祉環境部	市内	管理課長	1
1/13	第2回大潟区地域ケア会議	地域包括支援センターうのはな苑	市内	居宅支援	1
1/14	頸北・名立地区介護支援専門員連絡会	頸北・名立地区地域包括支援センター	市内	居宅支援	3
1/21	第5回大潟区個別地域ケア会議	大潟区総合事務所	市内	居宅支援	3
1/22	第1ブロック部会27年度第2回研修会	新潟県老人福祉施設協議会	新潟市	支援課長、相談	2
2/10	27年度介護老人福祉施設等集団指導	新潟県国保・福祉指導課	長岡市	介護課長	1

2/18	第5ブロック部会27年度第3回研修会	新潟県老人福祉施設協議会	市内	管理課長、相談	2
2/18	大潟区介護支援専門員連絡会	地域包括支援センターうのはな苑	市内	居宅支援	1
2/19	27年度第2回総会・施設長庶務担当課長会議	新潟県身体障害者施設協議会	長岡市	施設長、支援課長	2
2/25	上越圏域介護予防・地域リハビリテーション研修会	上越地域振興局健康福祉環境部	市内	居宅支援、地域包括	2
2/25,26	27年度第2回総会・第3回施設長会議	関東甲信越地区身体障害者施設協議会	登井沢町	支援課長	1
3/3	27年度視察研修報告会	上越地域自立支援施設協議会	市内	支援課長	1
3/7	27年度企画研修～一職研修・生活相談員編～	新潟県老人福祉施設協議会	新潟市	相談	2
3/8	28年度障害者雇用給付金制度申告申請事務説明会	高齢・障害・求職者雇用支援機構新潟支部	市内	事務長	1
3/9	居宅介護支援費に係る特定事業所集申減算に関する説明会	新潟県高齢福祉保健課	新潟市	居宅支援	1
3/15	平成27年度総会	頭北防火管理者協会	市内	施設長	1
3/17	第6回大潟区個別地域ケア会議	大潟区総合事務所	市内	居宅支援	3
3/17	定期巡回随時対応型訪問介護看護の仕組みと互介産別利用事例	(株)やさしい手等6社共催	市内	居宅支援	1
3/18	第3回大潟区地域ケア会議	地域包括支援センターうのはな苑	市内	居宅支援、相談	4
3/22	高齢者虐待防止研修会	上越地域振興局健康福祉環境部	市内	介護	2
3/22	障害者総合支援法等関係説明会	新潟県障害福祉課	新潟市	支援課長、相談	2
3/23	脳卒中予防講演会	上越市高齢者支援課	市内	居宅支援	3
3/30	27年度臨時総会・第2回管理者研修会	新潟県老人福祉施設協議会	新潟市	施設長、介護課長	2
					150

### 平成27年度施設内研修等一覧

日付	研修会名	主催	講師(説明者)	参加人数
4/22,23,30	27年度事業計画及び法令遵守に関する職員説明会	しおさいの里等複合施設	施設施設長	111
5/20	メンタルヘルス対策に向けて～セルフケア～	管理課・衛生委員会	労働者健康福祉機構産業保健部	46
5/29	感染症完全対応研修会	感染症防止委員会	委員	27
6/17	ひもときシート活用講座	人権意識向上委員会、地域包括支援センター	認知症介護指導者(外部)	18
8/19	ケア向上に関する研修会(老人介護 基本のき)	ケア向上委員会	外部研修参加者(介護職員)	22
10/21	感染症拡大防止研修会	感染症防止委員会	委員	28
11/18	事故防止安全研修会	事故防止・安全委員会	委員	23
12/16	トロミ剤に関する研修会	管理課厨房部門	管理栄養士(外部)	30
1/21	口腔ケア研修会	食事委員会	歯科医師、歯科衛生士(外部)	19
2/17	倫理と虐待～介護現場における倫理を理解し、虐待を身近な問題と考える～	人権意識向上委員会	地域包括支援センター社会福祉士	26
3/16	ストレスと向き合い、いきいきと働くために	管理課・衛生委員会	上越地域振興局健康福祉環境部	49
3/30	交通安全研修会	しおさいの里等複合施設	上越警察署	24
				423

### 職員資格取得状況一覧(述べ数)

資格・免許		平成27年4月1日現在	平成28年4月1日現在	増減
看護・機能訓練等	看護師	4	6	2
	准看護師	6	7	1
	作業療法士	1	1	0
	あんまマッサージ指圧師	1	1	0
	歯科衛生士	1	1	0
	衛生管理者	1	1	0
介護	介護福祉士	75	74	-1
	ホームヘルパー1級	11	11	0
	ホームヘルパー2級	36	37	1
	認定特定行為業務従事者(50時間研修修了者)	8	11	3
	認定特定行為業務従事者(14時間研修修了者)	45	46	1
	認定特定行為業務従事者(特定の者対象)	2	2	0
	認知症介護実践者研修修了	4	5	1
	認知症介護指導者養成研修修了	0	1	1
	主任介護支援専門員	3	3	0
相談援助	介護支援専門員	15	16	1
	社会福祉士	7	7	0
	精神保健福祉士	3	3	0
	サービス管理責任者	5	5	0
	社会福祉主事任用資格	30	31	1
栄養	管理栄養士	1	1	0
	栄養士	1	1	0
	調理師	8	8	0
計		268	279	11

※4月1日付採用内定者含む

### 特別休暇(自己啓発援助制度)の取得状況

資格	休暇申請者数	休暇取得日数(延べ)
認知症介護指導者	1	14日間
介護支援専門員	1	7日間

外部実習受入及び地域交流等の状況(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

1) 専門実習、福祉体験学習等受入の状況

日付	実習名	依頼元団体	受入部門	人数
4/9,他11回	在宅看護論実習	上越看護専門学校	地域包括支援センター	13
5/8,11他7回	老年看護学Ⅰ実習	上越看護専門学校	しおさいの里	39
5/11他5回	総合的学習	大潟町小学校5学年	しおさい、さいはま、デイ、ショート	60
5/11～5/22	保育実習Ⅰ	新潟こども医療専門学校	さいはま園	1
6/8～6/24	介護実習Ⅲ	上越保健医療福祉専門学校	しおさいの里	3
6/30	施設訪問(見学実習)	グループホーム南葉	しおさいの里	1
7/14,7/15	ふれあい交流	上越市立はまっこ保育園	デイサービス	48
7/27～7/31	職場体験学習	大潟町中学校2年生	しおさい、さいはま、デイ、ショート	9
8/4～8/5	職場体験	上越高等学校	しおさいの里	1
8/4～8/8	教育職員免許法の特例に伴う介護等の体験	上越教育大学	しおさいの里	1
9/1	地域包括支援センター実習	新潟県立看護大学	地域包括支援センター	4
10/2	施設訪問	リハビリセンター王見台家族会	さいはま園	10
10/5～10/14,他2回	介護実習Ⅰ	上越保健医療福祉専門学校	しおさいの里、さいはま園	7
10/9	施設見学	大潟町小学校2学年	しおさいの里	10
10/19	施設訪問	ひすい福祉会(糸魚川市)	しおさいの里、さいはま園	10
11/1	清掃活動	大潟町中学校奉仕クラブ	しおさいの里、さいはま園、デイサービス	20
10/27他2回	総合的学習	大潟町小学校4学年	しおさいの里	70
11/9他2回	総合的学習	大潟町中学校3学年	しおさいの里、デイサービス	60
2/1	施設訪問	さかえ福祉会(三条市)	デイサービス	4
3/7～3/9	介護・福祉職場の職業体験	上越市社会福祉協議会	しおさいの里	1
				372

2) ボランティア受入の状況

延受入回数	208回	内容:利用者交流(お話等)、繕い物、夏祭り等イベント補助、余興(踊り、唄、太鼓披露等)、美容、生け花指導、音道指導、ハンドマッサージ、介護予防教室運営補助、認知症カフェ運営補助、ラーメンの提供、その他
延受入人数	737人	

3) イベント開催・参加等の状況

日付	名称(場所)	概要	参加数
7/30他2回	認知症サポーター養成講座の開催	認知症を正しく理解し、認知症の人への「応援者」の養成(地域包括支援センター)	204
4/3他9回	「いきいきサロン」への講師派遣	体力測定や転倒予防の体操、認知症や生活習慣病予防の講話(地域包括支援センター)	169
4/10他、10回	介護者のつどい	介護者の悩み相談、介護者同士の情報交換(地域包括支援センター)	88
7/28	土底浜老人会への講師派遣	「認知症」や「介護保険」に関する講話(地域包括支援センター)	35
5/20	年輪会(潟町老人会)への講師派遣	認知症予防に関する講話等(地域包括支援センター)	28
6/13	「第14回ふくしのひろば」(リージョンプラザ上越)への参加	アダプテッド・スポーツ(年齢や障がいを問わず、誰もが参加できるスポーツ)の体験交流会の実施(さいはま園)	100
11/7	雁子浜老人会への講師派遣	「認知症」や「介護保険」に関する講話(地域包括支援センター)	25
6/27	地域貢献(社会奉仕)活動の実施	職員とその子どもが参加し、犀潟児童遊園の環境整備を実施(しおさいの里等複合施設・犀潟町内会合同)	24
8/1	「第16回夏祭り」の開催	利用者、家族、職員、ボランティア、地域住民で夏のひとときを共有する(しおさいの里等複合施設)	500
7/28,全3回	地域ケア会議	地域包括ケアシステム構築に向けた取り組みとして、専門多職種が連携し、地域課題を協議(地域包括支援センター)	86
9/25他、6回	認知症カフェ「うみまち茶屋」	認知症の人やその家族、地域住民等が気軽に集い交流を図ったり、認知症等の情報交換を行う場(地域包括支援センター)	150
10/24	「大潟福祉まつり」(大潟保健センター)への参加	利用者の作品展示、介護相談、福祉用具展示、脳トレ、認知症の勉強会開催等(しおさいの里等複合施設)	100
12/6	施設内訪問衣類販売会	施設利用者に買い物の機会を提供する	50

4) 介護予防専業(ココカラプロジェクト「だんだん広場」)開催状況

クラス名	開催時期	場所	実施回数	延参加人数
うのはなクラス	週1回(火曜日)	上越市大潟保健センター	48回	1,397人
さいがたクラス	週1回(水曜日)	しおさいの里ボランティアルーム	47回	1,281人
さいがたクラス	週1回(木曜日)	しおさいの里ボランティアルーム	49回	1,288人
合計			144回	3,966人

5) 広報活動

名称	発行日等	備考
公式ホームページ( <a href="http://www.siosainosato.jp">http://www.siosainosato.jp</a> )	随時更新	年間アクセス数19,241件(月平均1,600アクセス)
広報「しおさい」	年1回発行(1月)	各750部(利用者、家族、役員、関係機関等配布)
地域包括支援センター広報「おがたうのはな日報」	年2回発行(5月、9月)	各3,200部(大潟区内全戸配布)
しおさいの里等複合施設「夏祭り」開催チラシ	7月発行	300部(大潟区各町内会回覧)
上越タイムス	年3回掲載(8月、1月、3月)	施設紹介を兼ねた介護特集・協賛広告を掲載
新潟日報	1/1付け朝刊	年賀名刺広告

6) 施設設備・備品等の地域への開放・貸出

内容:クーラーボックスの貸出(地域の子供会行等で使用)、スポーツ器具(ポッチャ)の貸出(所属する大学での臨床実習で使用(障害児へのスポーツ活動支援))、ボランティアルームの開放(地域での福祉活動に関する打合せの場所として使用)

## 苦情解決およびアンケート調査

### 1. 苦情解決状況

#### 1) 苦情受付期間

平成27年4月1日～平成28年3月31日

#### 2) 苦情受付件数

年度	27年度	26年度	25年度	24年度	23年度	22年度
件数	2件	5件	6件	10件	14件	22件

(2件の事業別内訳)

複合施設 全体	特養 (入所)	特養 (短期)	通所介護	居宅介護 支援	地域包括 支援	障害支援	その他
				1	1		

#### 3) 苦情申出人の状況

	27年度	26年度	25年度	24年度	23年度	22年度
ご利用者本人	2件	1件	2件	6件	5件	12件
ご家族・身元引受人	件	3件	3件	3件	6件	8件
第三者 (介護支援専門員等)	件	1件	1件	1件	3件	2件

#### 4) 苦情の内容

①サービスの内容(量・質)に関すること	—	
②説明不足・情報提供に関すること	2	・相談場面における当事者との認識の相違に関する こと
③職員の接遇(言葉使い・態度に関すること)	—	
④権利侵害(プライバシー等)に関すること	—	
⑤個人の嗜好・選択に関すること	—	
⑥その他	—	

#### 5) 苦情受付の結果

それぞれの苦情・意見・要望等を真摯に受けとめ、職員間で共有し、都度改善に向けた取り組みを行った。

### 2. アンケートによる意見聴取

1) 調査名	ご利用満足度アンケート
2) 実施期間	平成28年1月27日～ 平成28年2月29日
3) 調査対象者	調査日現在、当施設サービス を利用するご利用者(ご家族) 様(473名)
4) 回答(回収率)	260通(55%)
5) 意見数	総数260件
6) 結果の公表	本ホームページ等で公表

平成27年度地域包括支援事業(上越市受託事業)活動報告

①総合相談支援

○相談件数

相談延件数	月平均件数
1,033	86

○相談経路及び方法

<相談経路>

	相談延件数	月平均件数
本人	501	42
家族等	275	23
関係機関	236	20
相談協力員	0	0
その他	11	1

<相談方法>

	相談延件数	月平均件数
電話	341	28
文書	3	1
来所	141	12
訪問	419	35
巡回	127	11

地域包括支援センターの周知のため、「広報うのはな日和」の発行、当法人のホームページに活動内容を掲載した。さらに5月に行われた健康診査の会場に地域包括支援センターのコーナーを設置し、地域包括支援センターのチラシや介護予防に関するパンフレット、脳トレのプリントなどを配布し、多くの住民に周知することができた。

事務所が大潟区総合事務所の隣にあるため、相談に来やすい環境になっている。

相談内容は介護保険に関する相談が多く、「上越市介護保険サービスガイドブック」を活用して説明、必要な手続きを行った。

(1)実態把握

実態把握延件数	月平均件数
282	24

6月の時点で26年度の実態把握対象者の全訪問を終了した。

7月以降は27年度の名簿で訪問活動を行ったが、月間計画で実態把握を行える日が少なく、年間の把握率は29.5%となった。次年度は他業務と調整をしながら月間計画で実態把握日を1・2回は設定し、年間400件の訪問が行えるようにする。

②権利擁護

○権利擁護に関する相談

	相談延件数
虐待(疑いを含む)	13
消費者被害	4
多重債務	0
日常生活自立支援事業	6
成年後見制度	10

(1)成年後見制度

認知症高齢者の増加に伴い、「金銭管理ができない」、「近くに親族がいないために介護サービスの契約等ができない」などの理由により成年後見制度や日常生活自立支援事業の相談は増えてきている。

27年度の成年後見制度申し立ての支援を行ったケースは1件、日常生活自立支援事業の支援を行ったケースは2件となっている。

(2)高齢者虐待への対応

介護支援専門員から虐待につながりそうな相談が案件数で2件あり、ケアマネとともに支援をしたことで未然に防ぐことができた。

他県に住む家族が虐待を受けているのではないかと相談があり、担当地域包括支援センターに情報提供をした。

(3) 困難事例への対応

介護支援専門員から認知症の独居高齢者の相談があり、大湊区総合事務所とも連携を図りながら支援を行った。ケース検討会には高齢者支援課から認知症地域支援推進員から助言や協力を得るなど、多様な関係機関と連携を図りながら支援を行っている。

(4) 消費者被害防止

消費者被害に関する相談はなかったが、普及啓発を目的に介護予防教室でオレオレ詐欺に合わないための防止策を参加者同士で考え、デモンストレーションを行った。参加者には身近な出来事として意識していただくことができた。継続的に行う必要があるとともに、地域住民向けに講演会などを実施して啓発活動を行う必要がある。

③ 包括的・継続的ケアマネジメント業務

(1) 地域ケア会議

年3回地域ケア会議を開催した。

第1回目の「大湊町小学校と高齢者とのふれ合いを知ろう」では小学校とのつながりや住民主体の活動について検討を行うことができた。

第2回目は「大湊区の特長、買い物支援について考える」をテーマに実施。地域アセスメントによって地域課題を把握し、検討まですることができた。

第3回は地域の介護サービス関係者と地域の代表者として地域支えい事業を理解したり、高齢者を地域の一員として何が出来るのかを話し合った。サービス事業所は地域住民が期待していることや施設に対する想いを情報交換することができた。

次年度にむけて課題を共有したり検討するだけでなく、具体的な取り組みまで進めていくことができよう大湊区総合事務所と連携を図り、内容を検討していく必要がある。

(2) 介護支援専門員に対する支援

	相談延件数
担当者会議	10
同行訪問	26
単独訪問	13
社会資源の紹介	0
関係機関の調整	13
ケアマネへの研修会	6
本庁・総合事務所への連絡	16

介護支援専門員から電話や来所により相談を受けることが多い。相談内容に応じて職員内で共有し、専門職が対応したり、必要に応じて大湊区総合事務所や高齢者支援課と連携を図りながら支援を行った。

年5回、介護予防支援業務を委託している事業所を対象に連絡会を開催した。

杉田医師による介護支援専門員との連携や保健師から生活習慣病についての講義、高齢者支援課から総合事業の説明、福祉サービスの紹介など、介護支援専門員の学びの場であったり、介護支援専門員同士が情報交換を行う場となっている。

1月には頸北名立ブロックで介護支援専門員連絡会を開催し、医療関係者と介護支援専門員がお互いに連携についてグループワークをしたり、情報交換会により顔の見える関係を築くことができた。

(3) 個別地域ケア会議

年6回開催され、介護支援専門員や民生委員とともに参加した。グループに分かれて意見が出やすいように工夫はしているが、出された意見から地域課題の抽出まで話し合われることがなかった。次年度は大湊区総合事務所と連携し、個別地域ケア会議の進行の支援や地域課題の抽出に向けて検討会議をしていく必要がある。

④ 第1号指定介護予防支援(介護予防マネジメント)

○認定者の状況(平成28年3月末現在)

チェックリスト	認定者数		予防給付		介護予防ケアマネジメント	
	要支援1	要支援2	利用者数	委託	利用者数	委託
	38	53	75	91	38	35
						7

総合事業への移行により、現行相当と緩和型サービスの判断に迷うこともあったが、その都度、高齢者支援課に相談し、適切にケアマネジメントができるように心がけた。業務委託をしているケースでもケアプランの確認をする際に、現行相当になる理由を確認するとともにケアプランの内容も指導している。

新規申請の相談がある場合は本人の状態とサービス内容を確認し、基本チェックリストを実施するようにしている。

居宅介護支援事業所に委託する利用者は要介護から要支援になられた方や新規申請の方でも要支援になるか要介護になるか判断がつかない場合には事前に居宅介護支援事業所に依頼し、要支援の場合には委託することが多い。

#### ⑤介護予防に関する普及・啓発を行う事業

##### (1)介護予防教室(だんだん広場)

火・木曜日は法人独自事業とし、水曜日はまちづくり大湊からの受託事業として新たに開講した。登録は最大で105名。体調不良等を理由に途中で中止となった方は6名であった。

##### (2)介護者のつどい

以前から地域包括の独自事業として活動してきたが、27年度から地域支え合い事業として受託し、年11回開催し、延べ参加者は88人だった。介護に関する相談や介護者自身の健康に関する講義も行い、介護者の負担を軽減するとともに介護者同士の情報交換の場として交流が持てている。

##### (3)認知症カフェ

地域支え合い事業として受託し、8月には関係者からなる運営委員会を発足し、運営委員とボランティアで9月より月1回開催し、延べ参加者150人だった。10月に大湊ふくしまつりと共催したり、防災無線を活用するなど地域に周知できるように工夫した。

認知症の方の参加は少ないが、認知症に関心のある地域住民が集まり、交流が持てている。次年度は参加者に認知症についての勉強会や予防体操の取り組みなど、さらに内容の充実を図るように努める。

##### (4)認知症サポーター養成講座

頸北名立地区キャラバンメイト連合会として小学生向けの認知症劇を計画し、北諏訪小学校の文化祭、大湊町小学校5年生の総合学習で認知症サポーター養成講座を開催した。またボランティア養成講座でも講師役として参加し、延べ207人の認知症サポーターを養成した。今後も地域からの依頼に応じながら、地域のキャラバンメイトが活躍できるようにフォローアップに努めていく。

##### (5)地域から講師依頼

6つのいきいきサロンと3つの老人会から12回の講師依頼があり、延べ参加者は273人であった。体力測定や運動、認知症予防の取り組みを紹介したり、介護保険の改正について説明した。